

# 福島県における熱中症対策の取組について

---

福島県カーボンニュートラル推進調整会議  
適応策推進部会 熱中症・感染症対策プロジェクトチーム

# 福島県における熱中症対策の取組

## 取組① 熱中症予防対策に関する普及啓発

(保健福祉部健康づくり推進課)

- 熱中症予防策や注意情報について、テレビやラジオ等での広報や県HPを活用した普及啓発を実施。  
(令和4年度実績：スポットCM 6月～9月、ラジオ放送1回、県政広報TV番組1回)



包括連携企業の県政情報コーナーに  
パンフレット275部設置



案内

### 「新しい生活様式」における 「熱中症予防」について

マスクを着けると、体に熱がこもりやすくなる、喉のかわきを感じにくくなるなど、熱中症のリスクが高まります。屋外で周囲の人と十分に距離がとれる場合はマスクを外しましょう。



また、マスク着用時は激しい運動は避け、喉がかわいていなくてもこまめに水分補給をしましょう。なお、少しでも体調が悪くなったら、速やかに涼しい場所へ移動することも、熱中症予防に有効です。詳しくは、下記ホームページをご覧ください。

問 県庁健康づくり推進課 ☎024(521)7640

福島県 熱中症予防

検索

ゆめだより（令和4年8月号）での  
周知

# 福島県における熱中症対策の取組

## 取組② 農作業事故ゼロ対策

(農林水産部農業担い手課)

- 関係機関等と連携して行う農作業安全の啓発活動と併せて、熱中症の注意喚起や対策の普及啓発を実施。

### 農作業中の熱中症に注意!!

暑さに体が慣れていない梅雨明け直後に、農作業中の熱中症が発生しています。熱中症を正しく理解し、予防に努めてください。

県内の農作業中の熱中症救急搬送状況（令和元年～令和3年）

| 年度   | 搬送確定値 | 死亡事故 |
|------|-------|------|
| 令和元年 | 41    | 3件   |
| 令和2年 | 30    | 2件   |
| 令和3年 | 40    | 2件   |

出展：福島県消防防災課 熱中症救急搬送確定値（仕事場（農地等））

#### 農作業中の熱中症対策チェック

- ☑ 高温時や体調がすぐれない時は作業は避けましょう
- ☑ 単独作業は避けましょう
- ☑ 一人で作業を行う時は家族や周囲の人に伝えましょう
- ☑ 20分おきに休憩&水分補給をしましょう

**暑さの感じ方は人にとって異なります! 高齢の方は特に注意が必要です!**

- ・年齢を重ねると暑さや水分不足に対する感覚機能が低下し、暑さに対する身体の調整機能も低下しています。
- ・自分の体調の変化に気をつけ、暑さの抵抗力に合わせて、万全の予防を心がけましょう。

**\*新型コロナウイルス感染症対策による「マスク着用」の留意点**

- ・着用時には強い負荷の作業は避け、喉が渇いていなくてもこまめな水分補給を心がけましょう。（マスク着用時は、喉の渇きを認識しにくくなります。）
- ・周囲の人と2m以上の距離が確保できる場合は、マスクを外して作業しましょう。

**福島県農作業安全運動展開中!**  
発行：福島県農作業安全運動推進本部

### 熱中症対策はあなたの命を守ります!

農作業中の暑さ対策は必ず実行!

県内では毎年5月上旬から熱中症が発生しています。農家の場合、屋外だけでなくハウス内でも発症する例もあります。普段から天気予報をチェックし、熱中症対策に取り組みましょう!

#### ◆熱中症について

高温多湿な環境下において、体内の水分および塩分(ナトリウム)のバランスが崩れたり、体内の調整機能が破綻するなどして発症します。

#### ○熱中症の症状と重症度

立ちくらみ、大量の発汗、筋肉痛・筋肉の硬直、頭痛、気分不調、吐き気、嘔吐、倦怠感、虚脱感、高体温、意識障害、痙攣、手足の運動障害

重症度：小 → 大

#### 農作業中の熱中症対策チェック

- ☒ 高温時や体調がすぐれないときは作業を避けましょう
- ☒ 単独作業は避けましょう
- ☒ 1人で作業を行うときは家族や周囲の人に伝えましょう
- ☒ 20分おきに休憩と水分補給をしましょう
- ☒ 暑熱対策グッズを活用しましょう ※帽子、ファン付き作業服 など

**暑さの感じ方は人によって異なります! 高齢の方は特に注意が必要です!**

- 年齢を重ねると暑さや水分不足に対する感覚機能が低下し、暑さに対する身体の調整機能も低下します。
- 自分の体調の変化に気をつけ、暑さの抵抗力に合わせて、万全の予防を心がけましょう。

#### ◆屋外作業時の「マスク着用」の留意点

季節を問わずマスク着用は原則不要です! 周囲の人と2m以上の距離が保てず、会話をする場合はマスクを着用し、強い負荷の作業は避けましょう。

#### ◆MAFFアプリで熱中症警戒アラートを受け取ろう!

MAFFアプリとは、農業に携わる皆さまに役立つ情報を農林水産省からお届けするスマホ用アプリです。

発行元：福島県農林水産部 農業担い手課

- 県独自の熱中症対策に係るチラシ（2種類）の作成及び配布、掲示（3,000枚以上）、県HPによる広報活動の実施。
- 既存の農業者向け研修会等に農作業安全（熱中症対策を含む）の要素を追加し、熱中症対策の啓発、暑熱対策グッズの紹介等を複数回実施。
- 県内農業者向けラジオを活用した熱中症対策の周知を実施。

# 福島県における熱中症対策の取組

## 取組③ 建設現場における熱中症対策 (土木部技術管理課)

- 昨年度は、土木部発注の建設現場において、作業員の熱中症が19件発生。(R3年度は12件)
- 福島労働局と連携し、工事受注者に対する講習会の開催や現場の安全パトロールを実施。
- 令和元年度より、熱中症対策費用の一部を工事費に計上できる措置を導入。



### 準備期間(4月)にすべきこと

きちんと実施されているかを確認し、口にチェックしましょう!

|                                      |                                       |
|--------------------------------------|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 労働衛生管理体制の確立 | 事業場での熱中症予防の責任体制を確立                    |
| <input type="checkbox"/> 暑さ指数の把握の準備  | JIS規格に適合した暑さ指数計を準備し、点検                |
| <input type="checkbox"/> 作業計画の策定     | 暑さ指数に応じた休憩時間の確保、作業中止に関する事項を含めた作業計画を策定 |
| <input type="checkbox"/> 設備対策の検討     | 賢い屋根、通風または冷房設備、飲水設備の設置を検討             |
| <input type="checkbox"/> 休憩場所の確保の検討  | 冷房を備えた休憩場所や涼しい休憩場所の確保を検討              |
| <input type="checkbox"/> 服装の検討       | 透湿性と透気性の良い服装を準備、身体を冷却する機能をもつ服の着用も検討   |
| <input type="checkbox"/> 緊急時の対応の事前確認 | 緊急時の対応を確認し、労働者に周知                     |
| <input type="checkbox"/> 教育研修の実施     | 管理者、労働者に対する教育を実施                      |

WGBT値の把握は、日本気象規格に適合したWGBT計測計による継続的観測を基本としてください。その地域を代表する一時的なWGBT値を参考とするご用意では足りませんが、暑い作業場や作業との状況は把握しておくことと認識していただき、暑熱状況に応じた対策、即時の対応も含めた暑熱対策、労働安全衛生法に基づいた作業については、実施することが重要です。  
地域を代表する一時的なWGBT値の観測 標準法および計測サイト <https://www.wgbt.ama.go.jp>

福島労働局パンフレット

### 建設現場における熱中症対策事例

#### テント・扇風機



#### 熱中症計による危険度の可視化 (WG B T 値)



#### 飲料水、アイスリ、塩飴



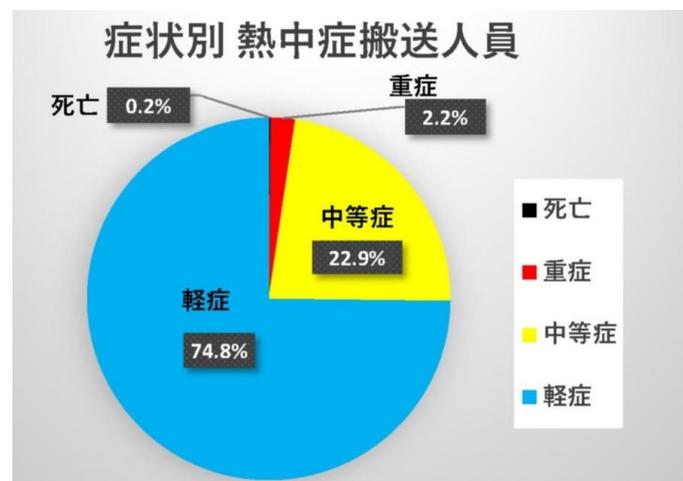
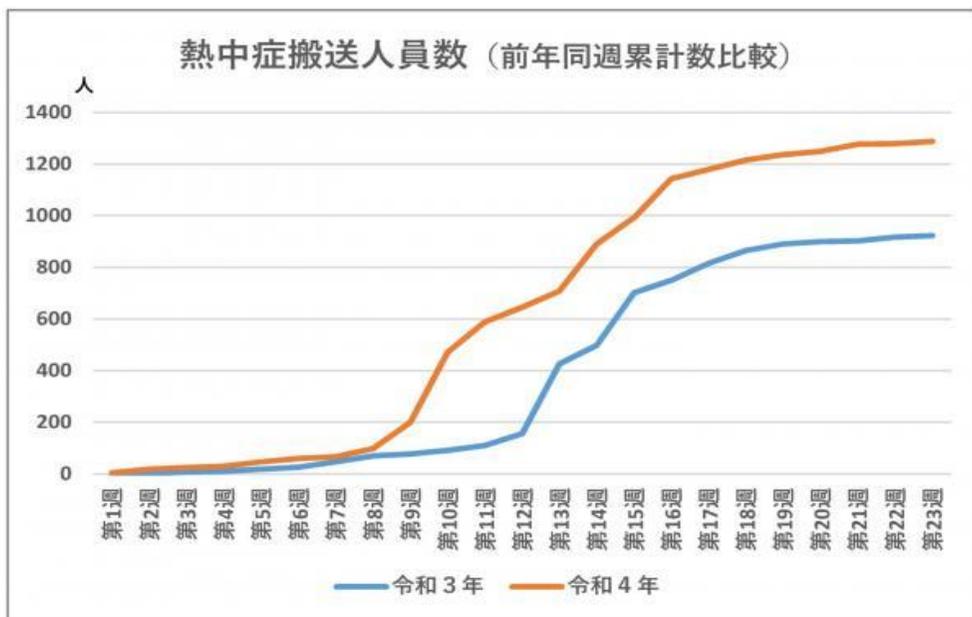
#### 熱空調服 (ファン付) の着用



# 福島県における熱中症対策の取組

## 取組④ 熱中症による救急搬送人員に関する調査 (危機管理部消防保安課)

○ 毎年、5月1日を含む週から9月30日を含む週まで、県内12消防本部を対象に熱中症搬送者数の調査を実施し、「熱中症救急搬送速報(週報)」として県HP上で公表する。



県内の消防本部のご協力の下、毎週、熱中症救急搬送速報を公表しています。熱中症予防の普及啓発活動にご活用ください。  
 <提供データ>

- 消防本部別の日別の搬送人員
- // 年齢区分別搬送人員
- // 初診時における傷病程度別搬送人員
- // 発生場所ごとの項目別搬送人員

# 福島県における熱中症対策の取組

## 取組⑤ 環境創造センター交流棟コミュタン福島での情報発信

(環境創造センター)

- 交流棟「コミュタン福島」の展示等を活用した気候変動の影響に係る情報発信の実施。



気候変動をはじめとする  
様々な環境問題などを触  
れながら学べるデジタル  
地球儀  
「触れる地球」



県の平均気温や温室効果  
ガス排出量等をタッチパ  
ネル形式で調べる  
「未来創造  
インフォストリーム」



地球温暖化や森林破壊な  
ど地球規模の環境問題を  
プロジェクションマッピ  
ングで紹介する  
「マッピングふくしま」



国立環境研究所福島地域  
協働研究拠点が制作した  
「3Dふくしま」